

針とモチ
糸とさし
布とあわせる
つ色とえらび
形をえらび
おもいと
描く

東北の
7th
手業展

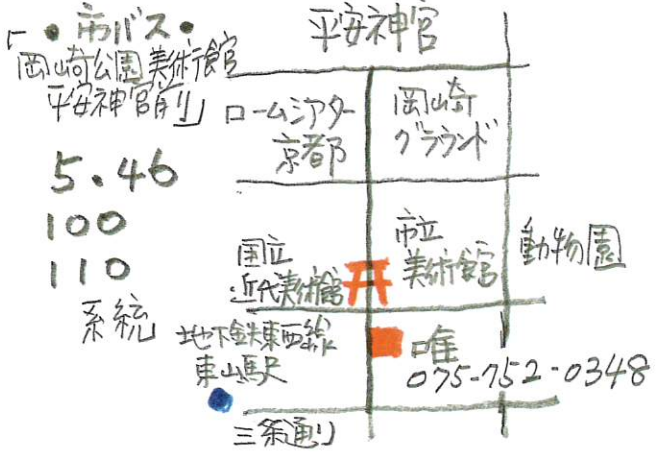
たて
糸を
しとのえ
布をり
糸を
よこ
緯糸を
ほしらす

なす
ゆらい
結が
あって
きた

七年



会場・ギャラリー-唯
平安神宮・太鳥居 下ル 東側



2018年9月5日(水)~9日(日)
11:00~18:00(9日17:00)

お問合わせ・040-6674-8082(ミルワ)
岡崎布ハビヨン
606-8321 京都市左京区岡崎東福川町24
園工房内

主催 岡布・ハビヨン

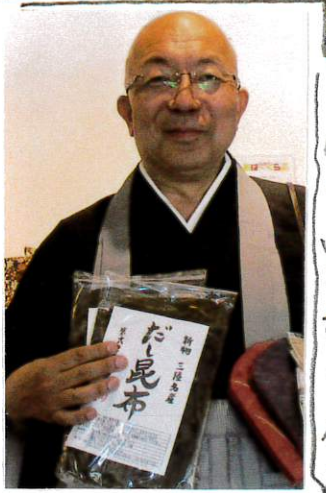
3.11 巨大複合災害により失われた(失われつつある)人・動植物・風景を皆で染めること
縫うことと遊びを通じ出会い、話を重ね、泣き怒り、そして笑合、時間と場所を一緒に作ってゆきたい。2011年6月にスタートしました。



**南三陸町
のぞみ福祉作業所**
作業所が流された
あとニヶ所を移す。
ゆきでもユニークな
絵やモアイ像ステマ
にヒグズなどを
作りつけられた。
箱には新しい作業所
が出来る。



おおつちおほちゃんくらぶ・津波と大火で町の風景が
失われた大槌町。おほちゃんたちは、この7年半寄り添い
ながら物作りを続け、町を元気づけ、外に向けて発信しつづけて来ました。



田老町・ぬい工房
宮古市の北には田老町
巨大な防波堤を津波
は壊す。田の大半がなくな
りました。避難先所の片隅
から始まった子つてく会は、
仮設集会所として
仮設店舗
で作業を
続け、今は
リ-ターナ
新築した
家の一室
にアトリエを設け
素晴らしい作品を作りつづけて
います。



田野畑村・11ヶの家
高台にある美しい作業所は津波後
支障の拠点とつづいた。2016年の
岩泉の大水害の際にも11ヶの家のみんなは力を合わせる様子を
続けました。裂き織を中心に糸織、刺し子など、その創造力
の豊かさにいつか圧されたいです。隣の村・11ヶのメンバーの
ホコガ一年スタッフとしてお世話になったこと、おかげで
3年ほどはつづいて。写真がみんなの思い出のアルバムです。

**田野畑村の漁師
佐々木公成(おんちゃん)**
のたし長布は絶品!
毎回必ず卒業生に
来て下さる三法然院の
梶田真章(おんちゃん)です。



関西のフクロのアーティストやデザイナーが、デザイン
や製品ルートなどで支援する。ごまか
と立ち上げグループです。

A・D・U アンテナ・デザイン・ユニット
おおつちおほちゃんくらぶとの
Shake Hand projectや
11ヶの家の画家の作品を布に
プリントしゆくプロジェクトはじ
まっています。

**障がい者自立センター
かまにし・マリン**
人気の木の枝マグネット
を、釜石・うのすま川
で採取した鉄分を含む
石く(餅鉄)にくっつけ
てみます。釜石の町
釜石からのメッセージ。

